

2019年度 日本臨床検査自動化学会 第1回生理検査委員会 議事録

日時：2019年4月26日 17時～

場所：ホテルライフオート札幌 レガート

出席者：古川泰司、東條尚子、大村直子

欠席者：竹内正明、尾本きよか、湯本真人

オブザーバー：康 東天、日高 洋

報告事項

1. 本委員会発足の経緯について

昨年の第50回大会総会での委員会承認までの経緯について、当日プレゼンテーション資料を用いて、簡単に説明された。

2. 委員確認

現時点での委員、6名と依頼中1名について確認された。

審議事項

1. 委員会活動方針について

委員就任時の依頼文面を用いて、当面の活動方針についての議論がなされた。

改正医療法では、生理機能検査・生体検査は法令の管理範囲とはなっていないが、参議院での付帯決議では、「検査精度の確保に関しては、遺伝子関連検査を含む検体検査のみならず、心電図・脳波・超音波検査等の生理学的検査について、学術団体等の作成するガイドライン等に留意しつつ検討するとともに、MRI、CT、PET など高度な検査機器の精度管理方法・仕様の国際標準化について検討し、必要な措置を講ずること。」と明記されたことを確認し、生理検査の精度管理業務を、ベンダーとの協業のなかで推進することが、提案され、概ね了承された。

ただし、第一回委員会では、委員参加分野が、循環生理・呼吸機能に限られたため、継続的協議が必要であるとの意見が述べられた。

2. 委員会内規について

委員会内規案が準備されたが、次回委員会での継続審議とされた。

3. 委員推薦について

事項第51回大会・シンポジウムでのシンポジストについて、まだ委員でない2名について就任を依頼する事が了承された。

4. 第51回大会・シンポジウムについて

大会プログラム大綱の確認と、竹内委員より寄せられた心エコー精度管理についての抄録

が紹介された。

5. その他

i. 日本臨床検査医学会・第66回学術集会 共催シンポジウム

「生理機能領域における検査品質の保証」のテーマで、共催シンポジウムが予定されていることが紹介された。

ii. その他

以上

(文責：古川)

委員名簿 (2019-2021) 2019/4/25 現在

| 氏名 | 施設 | 担当 |
|--------|--------------------|------|
| 古川 泰司 | 帝京大学医学部 | 委員長 |
| 大村 直子 | 帝京大学医学部 | 心電図 |
| 尾本 きよか | 自治医科大学附属さいたま医療センター | 超音波 |
| 竹内 正明 | 産業医科大学 | 超音波 |
| 東條 尚子 | 三楽病院 | 呼吸機能 |
| 湯本 真人 | 東京大学 | 神経生理 |

第 66 回日本臨床検査医学会学術集会

日本臨床検査自動化学会との共催シンポジウム・予定

=====

テーマ：「(仮)生理検査領域における検査品質の保証」

時間枠：120 分

座長：古川 泰司 先生、〇〇 〇〇 先生(技師)

シンポジスト：4 名

シンポジスト案

1) IS015189 認定取得施設から

東京大学 検査部 小室 貴子 副技師長

2) 検査実務者の立場から (生理検査の精度確保に関する取り組み)

杏林大学 臨床検査部 佐藤 英樹 副技師長

3) 臨床検査医の立場から

岩手医科大学 諏訪部 章 先生

4) 自動化学会・生理委員会委員長の立場から

帝京大学 中央検査部 古川 泰司 先生

=====